

## 地域の実情と課題

本市意識調査によると、市に求める役割として、「男性相談の窓口開設」があげられており、その値は、全体に比べ特に50歳未満の男性に高い傾向がみられた。性別による社会的なプレッシャーがかかりやすい男性の生きにくさに寄り添い、望まない孤独・孤立に陥ることがないよう、相談窓口の充実を図る必要がある。

## 事業の特徴

### 1 相談機会の拡充

令和5年度は月1回の開設だったが、今年度は月2回開設し相談機会の充実を図った。

### 2 相談ツール等の変更

令和5年度は、電話相談を日中に実施していたが、今年度は相談の手段をSNS(LINE)に、相談時間帯も夜間に移動し、相談者の利便性を高めた。

## 事業の効果

### 1 事業KPI：年間の相談件数 10件（目標 30件）

相談ツール及び時間帯の変更により、市民ニーズに柔軟に対応した。手段は、利用者から一定の評価を得ており、事業改善に有益なフィードバックが寄せられた。

### 2 相談機会の拡充

開設日の拡充や利便性の高い手段の確保により、新たな対象者へアプローチすることができた。

## 目的・目標

○困難を抱えた男性の不安の解消

○問題の解決により、生活や就労に対する意欲の向上

### 【目標】

- 1 家庭生活や地域生活について悩みや不安を感じる男性の割合 20.0%（R7年度調査予定）
- 2 年間の相談件数 30件（R5実績：9件）

## 連携団体

- 1 （一社）茨城県公認心理師協会 相談員人材確保
- 2 日立市医師会  
啓発サポート：広報協力、広報の感触をフィードバック
- 3 日立市コミュニティ推進協議会  
事業に関する広報協力
- 4 各種、各高校・大学  
事業に関する広報協力

## 今後の課題

- 1 広報アプローチの再考 掲示場所やデザインの検討
- 2 相談環境の充実  
男性が相談しやすい環境を整えるため、時間帯及び相談ツールの妥当性について協議を継続。
- 3 担当部署との連携強化  
必要に応じ、相談者がスムーズにサポート機関に繋がることができるように連絡体制の整備を行う。

## 事業の概要

### 【拡充】 男性SNS相談

#### 【拡充事業】

男性を対象としたLINEを活用したSNS相談。  
生活全般にわたる相談を受け悩みに寄り添うだけでなく、ケースによっては相談機関につなぐ等、不安を抱える男性をサポートする。

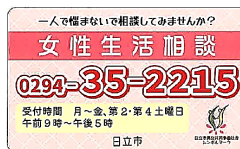
- 1 日 時 第2・4土曜日 17:30～22:00  
※ 拡充：実施回数 R5年度 1回/月 → R6年度 **2回/月**
- 2 相談員 1人（臨床心理士等の資格を持った男性）
- 3 相談実績 10件（目標：30件）
- 4 その他 R6年度より相談ツールを電話からSNS(LINE)に変更し、相談時間も日中から夜間に移動した。

連携

### 女性生活相談

女性を対象とした電話相談及び面接相談

- 1 日 時 月～金及び第2・4土曜 9時～17時
- 2 相談員 元教員、スクールカウンセラー等
- 3 場 所 らぼーるひたち（日立市女性センター）
- 4 その他 男性と称する相談者からの相談実績あり



### カウンセリング相談・SNS相談

男性ならではの生きにくさに対応したSNSによる相談

女性電話相談では対応しにくい問題に対して、専門資格を持つ心理カウンセラーが対面で対応

男性SNS相談  
(2回/月)

女性カウンセリング  
相談  
(2回/月)

性的マイノリティ  
SNS相談  
(2回/月)

性的マイノリティ当事者及び関わる全ての人の困りごとに対応したSNSによる相談

#### 【連携先】

日立市医師会、日立市コミュニティ推進協議会、各高校・大学ほか